

EGFR compound mutation を有する非小細胞肺癌患者由来 cancer tissue-originated spheroid (CTOS) の探索と EGFR-TKI (tyrosine kinase inhibitor) の最適治療シーケンスの探索

1. 研究の対象

2012 年～現在までで当院にて cancer tissue-originated spheroid (CTOS)作成の同意を頂いた EGFR 遺伝子変異陽性の患者さま

2. 研究目的・方法

倫理審査委員会承認後 ～ 西暦 2021 年 3 月 31 日において、提供いただいた検体から作成した CTOS を用いて、その遺伝子変異の検索を次世代シーケンサーを用いて行い、その遺伝子変異を明らかにし、EGFR-TKI(Gefitinib, Afatinib, Osimertinib)への効果を評価します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 作成した CTOS

情報: 抗癌剤治療歴とその効果

4. 外部への試料・情報の提供

協同研究機関である近畿大学医学部ゲノム生物学教室へは CTOS 検体を提出します。その際には、その作成元となった患者さまの情報はわからないように暗号化します。当院にてどの方から作成したものかわかるように、暗号連結化を行います。

5. 研究組織

大阪国際がんセンター 呼吸器内科

大阪国際がんセンター 生化学部門

近畿大学医学部 ゲノム生物学教室

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

研究責任者

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 診療主任 國政啓

住所: 〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話: 06-6945-1181

研究代表者:

大阪国際がんセンター 呼吸器内科 主任部長 今村文生

以上